

マツダ 41V ソウルレッドプレミアムメタリック

マツダが新型アテンザ(2012年11月発売)の新色として設定して以来、人気のある塗色としてマツダの様々な車種に採用されておりますが、非常に特殊な塗色であり、補修においては難易度の高い塗色であることから、問い合わせを多く頂いております。そこで簡単ではありますが、標準的な補修アドバイスを記載いたしますので、ご参照下さい。

◆ 配合情報

ベースカラー配合については、インターネット配合でご確認下さい。

【ブロック塗装編】

塗膜構成

トップコートクリアー	}	3コート仕様
カラークリアーベース		
カラーメタリックベース		
(下地)中塗り	}	標準的な下地工程
(下地)下塗り		

下塗り/中塗りの塗装仕様はスイフト2Kベースコート、D-1ベースHS、VトップモナークExcellent共通です

工程	要領	ポイント										
1 下塗り	<p>★ 脱脂作業ではAutoワックスクリーナーECO^{※1}を使用</p> <p>【調合】</p> <p>★ AutoD-NexTプライマー^{※2}</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 80%;">AutoD-NexTプライマー主剤</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">100</td> </tr> <tr> <td>AutoD-NexTプライマー硬化剤</td> <td style="text-align: center;">25</td> </tr> <tr> <td>AutoウレタンシンナーECO^{※3}</td> <td style="text-align: center;">10~20</td> </tr> </table>	AutoD-NexTプライマー主剤	100	AutoD-NexTプライマー硬化剤	25	AutoウレタンシンナーECO ^{※3}	10~20	<p>★ ダメージ部分の旧塗膜剥離および研磨</p> <p>★ 旧塗膜フェザー部作りと足付け研磨および脱脂処理。</p> <p>★ D-NexTプライマー塗布による金属面防錆下塗り処理(強制乾燥 60°C × 10分程度)。プライマー面の平滑研磨と清掃および脱脂処理(プライマー工程は省略可)。</p>				
AutoD-NexTプライマー主剤	100											
AutoD-NexTプライマー硬化剤	25											
AutoウレタンシンナーECO ^{※3}	10~20											
2 中塗り	<p>【調合】</p> <p>★ AutoSPSライトパテ、ポリパテ^{※2}</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 80%;">AutoSPSポリパテ主剤</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">100</td> </tr> <tr> <td>Autoパテ硬化剤 エロー</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> </table> <p>★ AutoD-NexTプラサフ^{※2}</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 80%;">AutoD-NexTプラサフ主剤</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">100</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタン硬化剤</td> <td style="text-align: center;">20</td> </tr> <tr> <td>AutoウレタンシンナーECO^{※3}</td> <td style="text-align: center;">10~20</td> </tr> </table>	AutoSPSポリパテ主剤	100	Autoパテ硬化剤 エロー	2	AutoD-NexTプラサフ主剤	100	Autoウレタン硬化剤	20	AutoウレタンシンナーECO ^{※3}	10~20	<p>★ ダメージ部が深い場合、SPSライトパテ、ポリパテを塗布し、パテ部分の平滑研磨と目馴染しを行う。</p> <p>★ 中塗り塗布前の旧塗膜足付け。</p> <p>★ D-NexTプラサフ塗布による中塗りを行う(強制乾燥 60°C × 15分以上推奨)。</p> <p>★ D-NexTプラサフの平滑研磨と上塗り用足付け処理を行う(推奨は P800 以上の空研ぎもしくは耐水ペーパーで研磨)。</p>
AutoSPSポリパテ主剤	100											
Autoパテ硬化剤 エロー	2											
AutoD-NexTプラサフ主剤	100											
Autoウレタン硬化剤	20											
AutoウレタンシンナーECO ^{※3}	10~20											

工程	要領	ポイント																		
3 カラーメタリック ベース	<p>★脱脂作業ではAutoワックスクリーナーECO^{※1}を使用</p> <p>【調合】</p> <p>★ Autoスイフト2K ベースコート^{※4}</p> <table border="1"> <tr> <td>Autoスイフト2K ベースコート</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタン硬化剤</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタンシンナー^{※2}</td> <td>100~120</td> </tr> </table> <p>★ AutoD-1ベースHS^{※4}</p> <table border="1"> <tr> <td>AutoD-1ベースHS</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>AutoHS硬化剤</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>AutoウレタンシンナーECO</td> <td>50~80</td> </tr> </table> <p>★ AutoVトップモナークExcellent^{※4}</p> <table border="1"> <tr> <td>AutoVトップモナークExcellent</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタン硬化剤</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>AutoウレタンシンナーECO</td> <td>100~120</td> </tr> </table>	Autoスイフト2K ベースコート	100	Autoウレタン硬化剤	10	Autoウレタンシンナー ^{※2}	100~120	AutoD-1ベースHS	100	AutoHS硬化剤	5	AutoウレタンシンナーECO	50~80	AutoVトップモナークExcellent	100	Autoウレタン硬化剤	25	AutoウレタンシンナーECO	100~120	<p>★ 塗装面の清掃と脱脂処理(エアブローしながらタッククロスでゴミ・ホコリを除去する)</p> <p>★ 希釈シンナーは、気温や塗装面積に応じて番手や希釈量を選定する。</p> <p>★ D-1ベースHSのカラーベースには必ず、ベースコート用硬化剤を 5 部、計量配合してから塗装を行う。</p> <p>★ 塗装面のザラツキが出ないよう、毎回インターバル(エアブロー)を取りながら、カラーベースの色決めで隠蔽するまで、丁寧な塗装で仕上げる(艶をあまり出さないように仕上げる)。</p>
Autoスイフト2K ベースコート	100																			
Autoウレタン硬化剤	10																			
Autoウレタンシンナー ^{※2}	100~120																			
AutoD-1ベースHS	100																			
AutoHS硬化剤	5																			
AutoウレタンシンナーECO	50~80																			
AutoVトップモナークExcellent	100																			
Autoウレタン硬化剤	25																			
AutoウレタンシンナーECO	100~120																			
4 カラークリヤー ベース	<p>【調合】</p> <p>★ Autoスイフト2K ベースコート^{※4}</p> <table border="1"> <tr> <td>Autoスイフト2K ベースコート</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタン硬化剤</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタンシンナー^{※2}</td> <td>80~100</td> </tr> </table> <p>★ AutoD-1ベースHS^{※4}</p> <table border="1"> <tr> <td>AutoD-1ベースHS</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>AutoウレタンシンナーECO</td> <td>50~80</td> </tr> </table> <p>★ AutoVトップモナークExcellent^{※4}</p> <table border="1"> <tr> <td>AutoVトップモナークExcellent</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタン硬化剤</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>AutoウレタンシンナーECO</td> <td>70~90</td> </tr> </table>	Autoスイフト2K ベースコート	100	Autoウレタン硬化剤	10	Autoウレタンシンナー ^{※2}	80~100	AutoD-1ベースHS	100	AutoウレタンシンナーECO	50~80	AutoVトップモナークExcellent	100	Autoウレタン硬化剤	25	AutoウレタンシンナーECO	70~90	<p>★ 希釈シンナーは、気温や塗装面積に応じて番手や希釈量を選定する。</p> <p>★ スプレーガンのパターン重ねを広く取り、塗りムラが出ないように丁寧な塗装で仕上げる(艶をあまり出さないように仕上げる)。</p> <p>★ 毎回インターバル(エアブロー)を取りながら、試し塗りの色相に合うまで、塗り重ねる。</p>		
Autoスイフト2K ベースコート	100																			
Autoウレタン硬化剤	10																			
Autoウレタンシンナー ^{※2}	80~100																			
AutoD-1ベースHS	100																			
AutoウレタンシンナーECO	50~80																			
AutoVトップモナークExcellent	100																			
Autoウレタン硬化剤	25																			
AutoウレタンシンナーECO	70~90																			

工程	要領	ポイント	
5 トップコート クリアー	【調合】	<ul style="list-style-type: none"> ★ 各調合クリアーは、一度に厚塗りをせず、塗面を荒らさない様に確認しながら、均一で丁寧な塗装を行う。 ★ 各クリアーでの毎回のインターバルでは、指触乾燥を確認し、2回目で肉付け、3回目で肌調整および仕上げを行う様に塗り重ねる。 ★ その他、DNT自動車補修用の上塗りクリアーが使用可能です(塗装条件は各クリアーの仕様に準ずる)。 	
	★ Autoプレインクリアー MX(4:1 仕様) ^{※5}		
	Autoプレインクリアー MX		100
	Autoウレタン硬化剤		25
	AutoウレタンシンナーECO		0~30
	★ Autoプレインクリアー EX(3:1 仕様) ^{※5}		
	Autoプレインクリアー EX		100
	Autoウレタン硬化剤		33
	AutoウレタンシンナーECO		10~30
	★ Autoプレインクリアー LG(4:1 仕様) ^{※5}		
	Autoプレインクリアー LG		100
	Autoウレタン硬化剤		25
	AutoウレタンシンナーECO		10~30
	★ Autoプレインクリアー SF(5:1 仕様) ^{※5}		
	Autoプレインクリアー SF		100
Autoウレタン硬化剤	20		
AutoウレタンシンナーECO	10~30		
★ Autoプレインクリアー JT(10:1 仕様) ^{※5}			
Autoプレインクリアー JT	100		
AutoHS硬化剤	10		
AutoウレタンシンナーECO	10~30		

※1… Autoワックスクリーナー(非環境対応品)でも代用可能です。

※2… 別紙カタログをご参照下さい。

※3… Autoウレタンシンナー(非環境対応品)でも代用可能です。

※4… 塗料種別の別紙カタログをご参照下さい。

※5… 別紙カタログをご参照下さい。

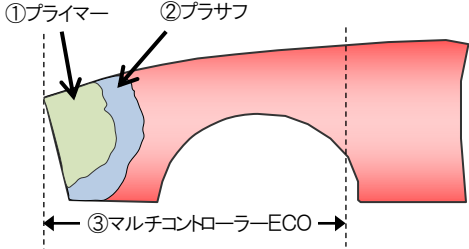
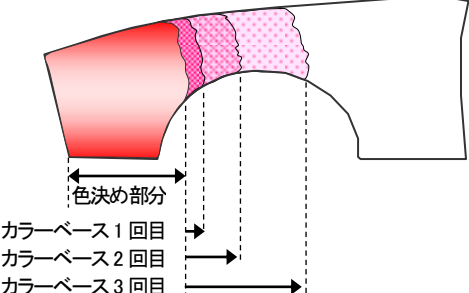
【ボカシ塗装編】

塗膜構成

トップコートクリアー	}	ボカシ用工程
カラークリアーベース		
カラーメタリックベース		
アンダークリアーベース		
(下地)中塗り	}	標準的な下地工程
(下地)下塗り		

下塗り/中塗りの塗装仕様はスィフト2Kベースコート、D-1ベースHS、VトップモナークExcellent共通です

工程	要領	ポイント
1 下塗り	ブロック塗装を参照	ブロック塗装を参照
2 中塗り	ブロック塗装を参照	ブロック塗装を参照

工程	要領	ポイント																		
3 カラーベースの ミスト馴染み 前処理	<p>【調合】</p> <p>★ AutoマルチコントローラーECO※6</p> <table border="1" data-bbox="437 300 979 383"> <tr> <td>AutoマルチコントローラーECO</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>AutoウレタンシンナーECO※3</td> <td>200~250</td> </tr> </table>	AutoマルチコントローラーECO	100	AutoウレタンシンナーECO※3	200~250	<p>★ 脱脂処理の拭取りが不十分な場合、カラーベース塗装時に吹き跡が出る場合がある。</p> <p>★ カラーベースのミスト馴染み性を上げるため、必ずマルチコントローラーECOをトップコートクリヤーのボカシ際の手前まで塗布する(トップコートクリヤーを全面塗装する場合は、マルチコントローラーECOを全面塗装可)。</p> <p>【マルチコントローラーECOまでの塗装イメージ】</p> 														
AutoマルチコントローラーECO	100																			
AutoウレタンシンナーECO※3	200~250																			
4 カラーメタリック ベース	<p>【調合】</p> <p>★ Autoスイフト2K ベースコート※4</p> <table border="1" data-bbox="437 1043 979 1167"> <tr> <td>Autoスイフト2K ベースコート</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタン硬化剤</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタンシンナー※2</td> <td>100~120</td> </tr> </table> <p>★ AutoD-1ベースHS※4</p> <table border="1" data-bbox="437 1200 979 1323"> <tr> <td>AutoD-1ベースHS</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>AutoHS硬化剤</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>AutoウレタンシンナーECO※2</td> <td>50~80</td> </tr> </table> <p>★ AutoVトップモナークExcellent※4</p> <table border="1" data-bbox="437 1357 979 1480"> <tr> <td>AutoVトップモナークExcellent</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>Autoウレタン硬化剤</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>AutoウレタンシンナーECO※2</td> <td>100~120</td> </tr> </table>	Autoスイフト2K ベースコート	100	Autoウレタン硬化剤	10	Autoウレタンシンナー※2	100~120	AutoD-1ベースHS	100	AutoHS硬化剤	5	AutoウレタンシンナーECO※2	50~80	AutoVトップモナークExcellent	100	Autoウレタン硬化剤	25	AutoウレタンシンナーECO※2	100~120	<p>★ ボカシのカラーベース配合は、カラークリヤーの色に少しでも近づける(色を濃くする)方がカラークリヤーでのボカシがしやすい。色を近づけるポイントはカラークリヤー配合中の 800(スタビライザー)以外の原色を同量、カラーベース配合に追加混合するとカラークリヤーに色が近づく(ここでの追加原色はD-1ベースHSの場合 758…4.8%、766…4.4%、754…3.5%)。</p> <p>★ 希釈シンナーは、気温や塗装面積に応じて番手や希釈量を選定する。</p> <p>★ D-1ベースHSのカラーベースには必ず、ベースコート用硬化剤を 5 部、計量配合してから塗装を行う。</p> <p>★ ボカシは塗装回ごとに、塗装面積が倍になる様に薄く塗り広げて、オーバーミストを覆い隠す様に 2~3 段階程度に分けてボカしていく。</p> <p>【カラーベースの塗装イメージ】</p> 
Autoスイフト2K ベースコート	100																			
Autoウレタン硬化剤	10																			
Autoウレタンシンナー※2	100~120																			
AutoD-1ベースHS	100																			
AutoHS硬化剤	5																			
AutoウレタンシンナーECO※2	50~80																			
AutoVトップモナークExcellent	100																			
Autoウレタン硬化剤	25																			
AutoウレタンシンナーECO※2	100~120																			

工程		要領	ポイント	
5	カラークリヤー ベース	【調合】	<ul style="list-style-type: none"> ★ 希釈シンナーは、気温や塗装面積に応じて番手や希釈量を選定する。 ★ カラーベース塗装範囲より、やや広めに塗装する(艶をあまり出さないように仕上げる)。 ★ 毎回インターバル(エアブロー)を取りながら、少しずつ広げてボカシ塗装をする(隠蔽性が無い為、1回毎の膜厚を付け過ぎない様に注意)。 ★ カラークリヤーを塗装する回数により、メタリックベースのキラツキ(輝き)が抑えられます。 	
		★ Autoスイフト2K ベースコート※4		
		Autoスイフト2K ベースコート		100
		Autoウレタン硬化剤		10
		Autoウレタンシンナー※2		80~100
		★ AutoD-1ベースHS※4		
		AutoD-1ベースHS		100
		AutoウレタンシンナーECO		50~80
		★ AutoVトップモナークExcellent※4		
		AutoVトップモナークExcellent		100
Autoウレタン硬化剤	25			
AutoウレタンシンナーECO	70~90			
6	トップコート クリヤー	ブロック塗装を参照	ブロック塗装を参照	

※1… Autoワックスクリーナー(非環境対応品)でも代用可能です。

※2… 別紙カタログをご参照下さい。

※3… Autoウレタンシンナー(非環境対応品)でも代用可能です。

※4… 塗料種別の別紙カタログをご参照下さい。

※5… 別紙カタログをご参照下さい。

※6… 別紙カタログをご参照下さい。